



ふなわりくん
船橋市ゼロカーボンシティ推進地域協議会のマスコットキャラクター。船橋のシンボルマークから生まれた妖精。みんなにとって居心地の良い場所を作ろうと、日々努力を続けるエコなやつ。

ごみの減量のススメ



リサちゃん
ごみ減量及び資源化にむけた「ふなばし3Rすすめ隊」再生利用(Recycle)に由来するキャラクター。

事業者のみなさんへ



コスト削減におすすめの方法があるよ！

お店をはじめてしばらくして、繁盛しているふなわりくん。忙しさにかまけてごみの分別をせずに捨てています。繁盛するにつれてごみの処理費用もかさねてきたため、困っています。困ったふなわりくんは、リサちゃんに相談します。

ごみの分別でコスト削減！ (従業員数100人の企業を想定)

可燃ごみの排出量	年間26t(26,000kg)
分別推進後	資源化できる紙ごみ比率 16% 可燃ごみ比率 84%
処理単価	紙ごみ0円/kg 可燃ごみ22円/kg

分別処理しないと・・・

$$26,000\text{kg} \times 22\text{円} = 572,000\text{円}$$

分別処分後

$$\begin{aligned} \text{紙ごみ} & 26,000\text{kg} \times 16\% \times 0\text{円} = 0\text{円} \\ \text{可燃ごみ} & 26,000\text{kg} \times 84\% \times 22\text{円} = 480,000\text{円} \end{aligned}$$

分別未着手の処理費用	572,000円
分別着手後の処理費用	480,000円
差額	92,000円

分別・減量に取り組むと
92,000円/年のコスト削減に！

※コストを削減するために資源物回収業者に回収を依頼する必要があります。

するとリサちゃんは、「ごみの分別」についての話をしました。一部の紙ごみは有価物となるため、処理費用がかからないことを知りました。

その他のメリット

地球環境の保全

分別・減量の取り組みを進めることで、資源保全・省エネルギーなど次世代へよい環境をのこすことができます。

企業イメージの向上

地球環境問題への関心が高まっている今、分別・減量の取り組みは社会へのPR効果となり、企業のイメージアップにつながります。

他にもメリットがたくさん！
ぜひごみの分別や減量に取り組んでみてね！

よ～し！これからごみの減量も頑張るぞ～！



他にも、どんなメリットがあるか気になったふなわりくんは、自分で調べると、費用の削減以外にもメリットがありました！！このリーフレットを読んで、ごみの分別・減量に取り組んでみましょう！

ごみの減量は、排出する量を減らすだけでなく、分別や資源化を行うだけでも減量につながるよ！自分の業種で活用できることに取り組んでみよう！



ごみの減量 業種別取組例

オフィス・事務所

- 書類を最小限にするために、両面印刷やペーパーレス化を推進
- 裏面を利用していないOA用紙は裏紙として活用
- 食堂や売店のある企業は紙コップやレジ袋を提供せず、マイボトル・マイバッグの利用を推進
- 新聞・雑誌・段ボールなど、資源化できるものは可能な限り資源化
- 可能な限りエコマーク用品の優先購入、文房具・洗剤等の詰め替え商品の購入



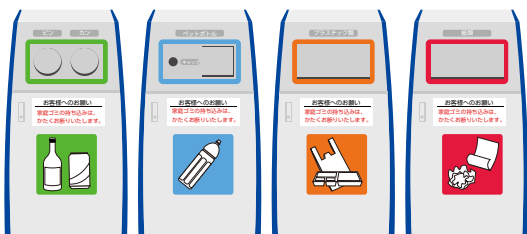
製造業

- 工場内に掲示する工程表などの電子化
- 生産、加工段階での包装・梱包の簡易包装
- 通い箱などを活用し、運搬資材・梱包資源の省資源化、再使用の推進
- 解体の容易性、使用素材の種類削減など、修理・リサイクルを考えた設計・開発の実施
- 飼料や肥料、その他の用途でのリサイクル
- リターナブル容器や詰め替え製品、デポジット制製品を導入



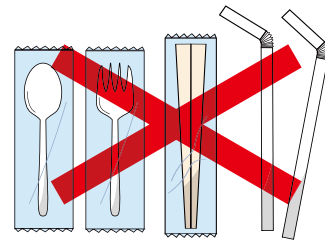
小売業

- 過剰包装を控え、簡易包装の導入
- 食料品の加工くずなどは水切りしてから処分
- 流通用梱包材は繰り返し使えるものを採用
- 食品トレイやペットボトルなどの容器包装の店頭回収の実施
- バラ売りなどの少量での販売、総菜コーナーの売り切りの推進
- リターナブル容器や詰め替え製品、デポジット制製品を導入



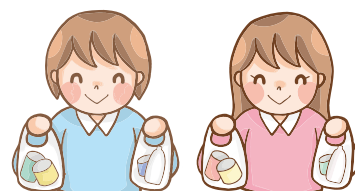
飲食業

- 調理時に無駄な生ごみを出さないように調理法の工夫
- 使い捨ての割りばしやスプーン等の使用を控える
- 通い箱などを活用し、運搬資材・梱包資源の省資源化、再使用の推進
- 食事量を調整する大盛、小盛などをメニューに採用
- 衛生面に注意しつつ、持ち帰り用の容器を提供
- 消費者へ「3010運動」の啓発
- 残飯や調理くずは生ごみ処理機の導入や、堆肥化・飼料化を検討



その他業種

- 電子カルテの導入（病院などの医療系業種）
- 来場者にごみの持ち帰りの協力を呼びかけ（興行場、遊技場）
- ビンやカンなどのリサイクルボックスを設置し、分別排出を実現（全業種）
- 分別の際に、排出できる品目の写真等を掲示し「見える化」の推進（全業種）



ごみの減量に取り組むには

1 排出量の把握

排出量を把握することは、減量効果の確認や減量計画策定のために不可欠なものです。事業者自ら排出量を把握し、減量に努めましょう。

排出する度に計量し実量を把握することが原則ですが、容器や袋単位による換算基準を設け、個数により、排出量を把握する方法も考えられます。



2 目標値の設定

ごみの排出状況から、改善点を洗い出し、減量・リサイクルの計画、目標値を設定しましょう。

目標作成の段階から複数人の意見を求め、具体的な数値（廃棄物10%削減！、再利用率5%向上など）を立てましょう。



3 分別ルールの方策

ごみの分別方法や再利用の対象品目の選定にあたっては、廃棄物処理業者・資源物回収業者ともよく相談し、効果的な分別区分、排出・保管場所、表示方法などのルールを設定しましょう。

全員が無理なく実践できる簡単な取り組みから。事業所の一人ひとりがごみの減量・リサイクルについて意識を持ち、行動に移すことが重要です。



4 排出・保管場所の明確化

種類ごとに排出、保管場所を区分し、明確化しましょう。

名称、注意事項やリサイクル方法などを明記した掲示をするなどの工夫をしましょう。



5 日常管理

分別ルールに従って、分別区分ごとのごみの排出量、リサイクル量を確認してみましょう。

把握した量を日報、月報、年報として管理します。種類ごとの実績を集計することで、減量効果、改善点を見出すことができ、新たな方策をとることができます。



6 点検

定期的にごみの排出、保管場所を点検、巡回して、分別が適切に行われていることを確認しましょう。

チェックポイント！

- それぞれの廃棄物は適切な場所に保管されているか
- 保管場所は整理整頓されているか
- 収集頻度は適切か（保管場所のオーバーフローはないか）など

効果が見られなかった取り組みについては、見直しが必要です。新たな目標、問題点の検討を行い、無理なく、無駄なく、ごみの減量・リサイクルを進めましょう。

実際にごみの分別・リサイクルに積極的に取り組んでいる事業者に話を聞いてみたよ。
市内事業者の取り組みを見てみよう！



市内事業者のごみの分別・減量への取り組みの紹介



ごみ集積所の写真です。
ごみの種類を 21 品目に分け、それぞれ廃棄 BOX を設置しています。箱を分けることで種類の異なるごみの混入を防いでいます。また、廃棄 BOX ごとに写真を貼り、「見える化」を図っています。写真を掲載することで、分別の間違いも減りました。

分別の間違いが多いものには、注意喚起の掲示も作成しています。外国人従業員の方もいるため、多言語表記（英語、中国語）も取り入れています。この取り組みによって、日本語があまり堪能ではない方も間違いなく分別できるようになりました。

段ボールは資源物回収業者に回収を依頼しています。古紙やシュレッダーごみは店舗内のトイレトーパーに、生まれ変わっています。また、廃棄時の良い例・悪い例を掲示することで、雑な分別を防いでいます。

事業用大規模建築物の所有者は届け出が必要です

大規模小売店舗または延べ面積 3,000㎡以上の建築物の事業所（興行場、集会場、図書館、博物館、美術館、遊技場、店舗、事務所、学校教育法第 1 条に規定する学校以外の学校、ホテル、旅館 等）の所有者は、条例の規定に基づく届出書の提出が必要です。

- **廃棄物管理責任者選任等届出書**
事業用大規模建築物から排出される事業系一般廃棄物の減量、資源化及び適正な処理に関する業務を担当させるため廃棄物管理責任者を選任し、届け出て下さい。また、変更があった場合にも届け出が必要です。
- **事業系一般廃棄物減量等計画書**
事業系一般廃棄物の減量、資源化及び適正な処理に関する計画書を作成し、毎年 6 月末までに提出して下さい。



詳細は、上のバーコードを読み取り、確認して下さい。



発行：船橋市廃棄物指導課
電話：047-436-3814
メール：haikibutsu@city.funabashi.lg.jp